

## （「室生山上公園芸術の森」が完成！）

平成18年6月1日、「室生山上公園芸術の森」（宇陀市室生区室生）がオープンした。この公園は、室生区（旧室生村）が平成13年度より取り組んできた「アートアルカディア計画（自然環境に調和した空間を創り出し、芸術の理想郷を作る）のシンボル事業として整備されたもの。室生寺の南の高台に広がる公園（7.8ha）は、彫刻家であり、環境芸術の世界的第一人者でもあるダニ・カラヴァン氏がデザインし、自然と芸術が溶け合う地となっている。

ダニ・カラヴァン氏（パリ在住）は、故・井上武吉氏（室生・滝川出身の彫刻家）の作品が同じジャンルであることから同氏と親友になり、井上氏が生前に構想していた「森の回廊計画」（室生全体を人間と自然が共生する美術館）の遺志を継ぎ、現地へ16回訪問し造営した。

公園入り口から森の間を抜けると、大きな第1湖が見えてくる。湖には鳥が集う島、ピラミッドの島、ステージの島と3つの島がある。ステージの島では、さまざまなアクティビティが出来るように、湖を取り囲んで半円形の観覧席が設置されている。

周辺には、棚田があり、実際に耕作されていて米作りの四季の移り変わりが見られる。

第2湖は、太陽の島上に太陽の塔があり、塔の中央を太陽の道が横切る。この道は北緯34度32分の東西の軸線で、伊勢、室生寺、長谷寺、箸墓古墳など古来より重要な場所をつなぎ太陽信仰とも関係があるといわれている。ちなみに、「その聖なる線上に描かれた水、光、風のアートスペースは、自然への祈りを込めた現在の“こころの聖地”と言えるでしょう」とPRされている。

この先には、らせんの水路、らせんの竹林、波型の土盛りなどがある。

なお、公園の敷地は、公共事業の地すべり対策

事業地で、湖の底には水が地下にもぐらないように、水が浸透しないシートが敷かれている。公共事業地を自然と触れ合う地にかえたのは、新しい公共事業のあり方として注目されている。

千年以上にわたり聖地として人々の心の拠りどころとなってきた室生寺と同じように、この芸術の森は心身の癒しの空間として後々まで残っていくと期待される。（上田）



第1湖 鳥が集う、ピラミッド、ステージの島



第2湖 太陽の島、太陽の塔

### これからの主な催し

〔主な行事〕

●8月14日～15日（月～火）

春日大社 中元万燈籠

境内の3000に及ぶ燈籠は、800年の昔より藤原氏を始め広く国民より奉納されたもの。

JR・近鉄奈良駅 春日大社本殿行バス8分

終点下車すぐ

●8月15日（火）19：00～22：00

東大寺 大仏殿万燈供養会

うら盆の一夜、大仏に燈火をお供えして諸霊の供養が行われる。大仏殿の中門が開かれ無料拝観ができる。また、大仏殿の窓が開かれ、中門から大仏さまの顔が拝観できる。

JR・近鉄奈良駅 市内循環バス

大仏殿春日大社前下車 徒歩5分